

# 古川流域の総合的な 治水対策事業

～浸水被害の軽減を目指して～



秋田南大橋 上空 H29.7.24撮影



秋田市



# 平成29年・平成30年に発生した豪雨災害

## ○降雨状況

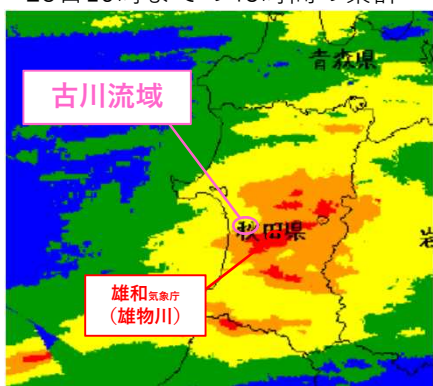
主要観測所ごとの雨量データ

観測所	H29.7.22~23 降水量		H29.8.24~25 降水量		H30.5.17~19 降水量	
	総雨量	24時間最大	総雨量	24時間最大	総雨量	24時間最大
秋田	127.0mm	127.0mm	102.5mm	102.5mm	208.0mm	156.5mm
仁別	179.0mm	174.5mm	154.0mm	153.0mm	223.5mm	148.0mm
雄和	348.5mm	347.0mm	122.5mm	121.5mm	213.0mm	156.5mm
大正寺	305.0mm	304.0mm	150.0mm	150.0mm	203.0mm	148.5mm
岩見三内	234.5mm	233.5mm	121.0mm	120.0mm	210.5mm	148.0mm

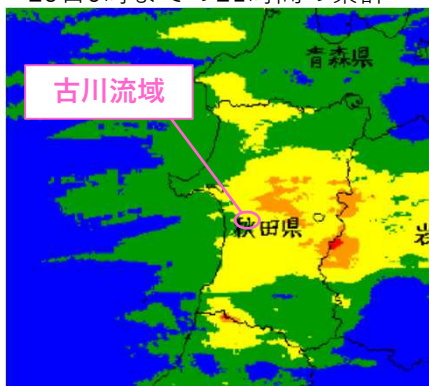
※出典：国土交通省 気象庁HPより

## 累加雨量レーダ

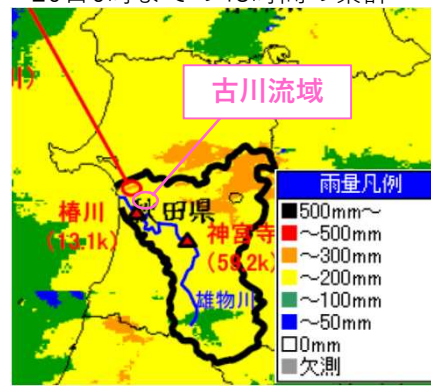
平成29年7月22日0時から  
23日19時までの43時間の累計



平成29年8月24日12時から  
25日9時までの21時間の累計



平成30年5月18日0時から  
20日0時までの48時間の累計



※出典：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課 資料より

## ○浸水被害状況

平成29年7月豪雨 (調査期間：H29.7.25~H29.8.7)

地区		被害件数		
		床上	床下	計
牛島		3	24	27
仁井田	瀧中町、瀧中島、新中島、二ツ屋、福島、目長田、小中島、路見町	26	86	112
御野場		0	2	2
大住	一丁目、二丁目	48	81	129
合計		77	193	270

平成30年5月豪雨 (調査期間：H30.5.19~H30.6.12)

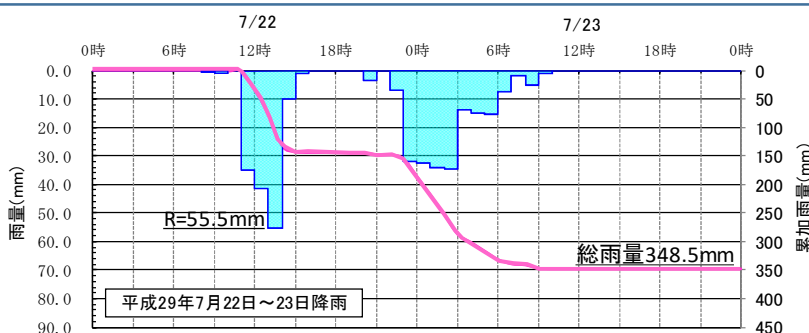
地区		被害件数		
		床上	床下	計
牛島		1	28	29
仁井田	瀧中町、瀧中島、新中島、二ツ屋、福島、目長田、小中島、路見町	5	16	21
御野場		-	-	-
大住	一丁目、二丁目	26	90	116
合計		32	134	166

※秋田市防災安全対策課とりまとめ

## 対策の目標

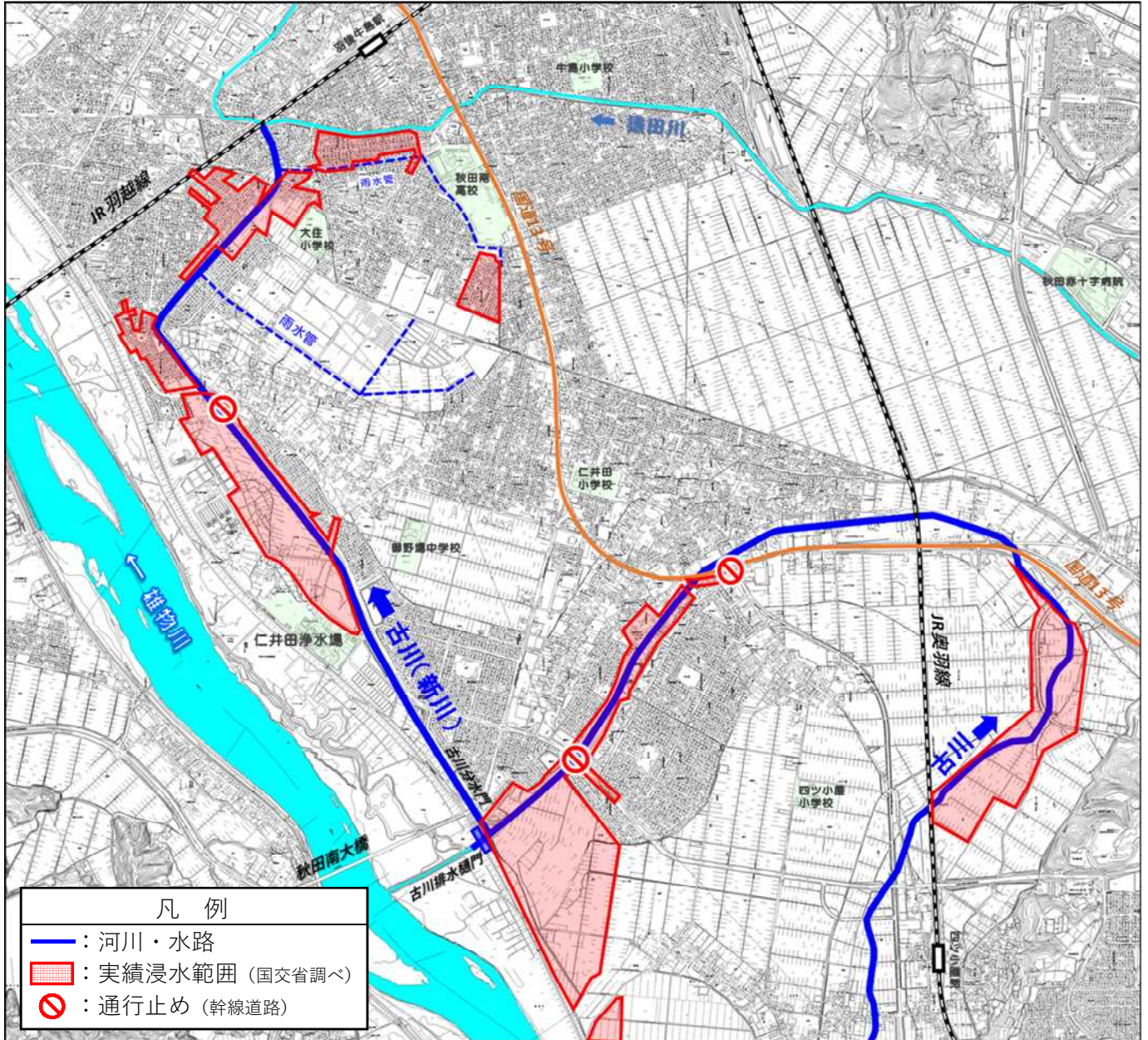
平成29年7月豪雨と同規模の降雨での、床上浸水被害の解消

平成29年7月豪雨と同規模の降雨 (雄和雨量観測所：348.5mm) を用いて、シミュレーションにより解析を行い、整備施設の規模等を決めています。





# 平成29年7月豪雨 古川流域の主な浸水範囲



# 平成29年7月豪雨 浸水被害状況写真





# 古川の水位や河川カメラの映像などの河川情報をwebで配信



秋田市では、古川沿川に水位計やカメラを設置し、これらの河川情報を市ホームページで配信しています。古川の様子がスマートフォンやパソコンなどでリアルタイムに確認することができます。災害時における皆様の早めの避難行動などへの対応に是非ご活用ください。



QRコード  
河川情報

こちらのQRコードから確認できます →

## ◎水位計について

古川沿川に水位計を3基設置し、水位をwebで公開しています。グラフに表示される水位は、次のとおりです。（設置箇所は右ページを参照）

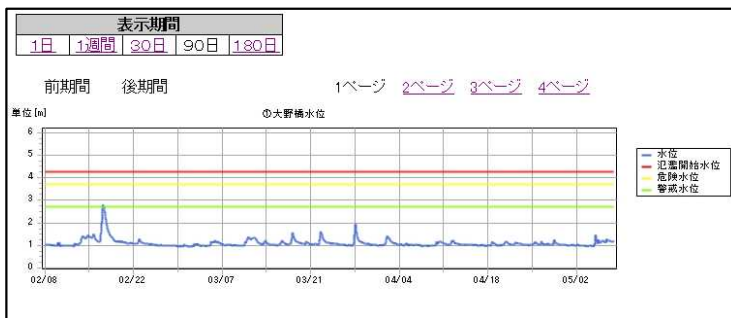
**氾濫開始水位**：『水位計が設置された場所の近くで、古川が溢れ始めています』  
**危険水位**：『このまま水位が上がると、古川が溢れる可能性があります』  
**警戒水位**：『普段より水位が上がっています。（降雨の状況にも注意を配りましょう）』

## ◎河川カメラ等について

古川沿川に河川カメラ3基、道路冠水警報ユニット1基を設置し、リアルタイムの映像をwebで配信しています。（設置箇所は右ページを参照）

河川カメラでは、警戒水位等を直接護岸に着色して映し出しています。

また、映像は、秋田ケーブルテレビ（CNA）の「し～なアプリ」やCNA12chでもご覧いただけます。



水位計のグラフ



河川カメラの映像（小股尻橋）

# 内水はん濫時の浸水想定区域図をwebで公開

秋田市ホームページ（水害ハザードマップ）で、内水による浸水想定区域図（参考資料）が確認できます。浸水発生の危険度（避難が必要かどうか）や避難場所、避難経路などについて自ら検討することができます。



QRコード  
浸水想定区域

こちらのQRコードから確認できます →

# 災害対策用排水ポンプ車を配備

秋田市では、河川の氾濫など大規模な浸水被害に備え、排水ポンプ車2台を配備し、円滑な作業の習得を目的に排水訓練を実施しているほか、令和4年8月の豪雨では、古川排水樋門の閉門に伴い排水ポンプ車が出動し、排水作業を行いました。



災害対策用排水ポンプ車



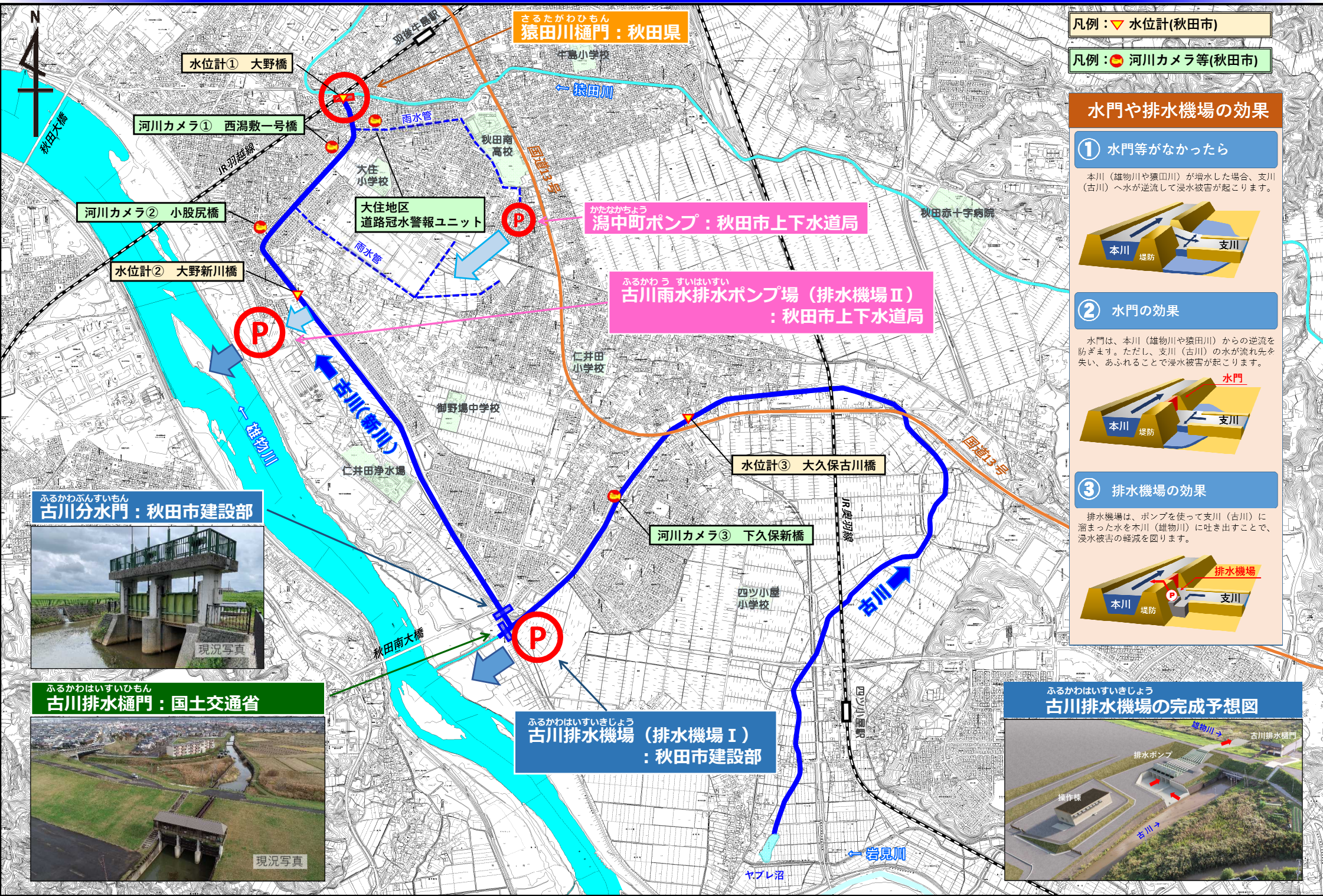
令和4年5月 国・県・市合同訓練



令和4年8月の排水状況



# 古川流域における治水対策概要図

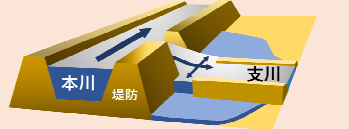


凡例：▽ 水位計(秋田市)  
 凡例：📷 河川カメラ等(秋田市)

## 水門や排水機場の効果

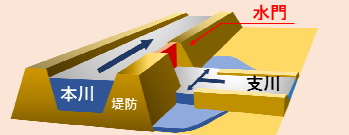
### ① 水門等がなかったら

本川（雄物川や猿田川）が増水した場合、支川（古川）へ水が逆流して浸水被害が起こります。



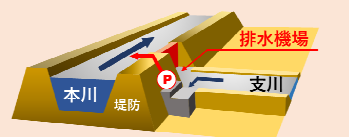
### ② 水門の効果

水門は、本川（雄物川や猿田川）からの逆流を防ぎます。ただし、支川（古川）の水が流れ先を失い、あふれることで浸水被害が起こります。



### ③ 排水機場の効果

排水機場は、ポンプを使って支川（古川）に溜まった水を本川（雄物川）に吐き出すことで、浸水被害の軽減を図ります。



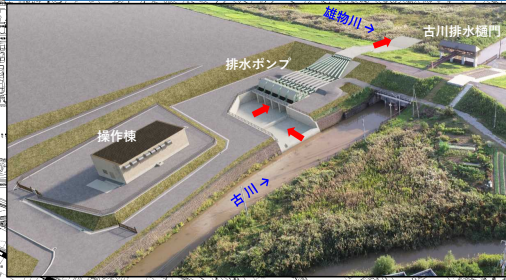
ふるかわぶんすいもん  
**古川分水門**：秋田市建設部



ふるかわはいすいひもん  
**古川排水樋門**：国土交通省



ふるかわはいすいきじょう  
**古川排水機場の完成予想図**



さるたがわひもん  
**猿田川樋門**：秋田県

かたなかちよう  
**潟中町ポンプ**：秋田市上下水道局

ふるかわう すいはいすい  
**古川雨水排水ポンプ場（排水機場Ⅱ）**  
 ：秋田市上下水道局

ふるかわはいすいきじょう  
**古川排水機場（排水機場Ⅰ）**  
 ：秋田市建設部

水位計① 大野橋

河川カメラ① 西潟敷一号橋

河川カメラ② 小股尻橋

水位計② 大野新川橋

水位計③ 大久保古川橋

河川カメラ③ 下久保新橋



## 整備スケジュール（予定）と役割分担

整備項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
古川排水機場 (排水機場Ⅰ)	調査・設計等			排水機場工事		
猿田川樋門	調査・設計等				樋門工事	
古川雨水排水 ポンプ場 (排水機場Ⅱ)	調査・設計等			排水機場工事		
潟中町 ポンプ					調査・設計	工事

凡例 ■：秋田市建設部 ■：秋田市上下水道局 ■：秋田県

## 整備概要

ふるかわ はいすいきじょう

**古川排水機場(排水機場Ⅰ)：秋田市建設部 が整備します**

古川に流れ込む流域の水を雄物川に排水するための排水機場（ポンプ場）を整備します。

ふるかわ うすい はいすい

**古川雨水排水ポンプ場(排水機場Ⅱ)：秋田市上下水道局 が整備します**

かたなかちょう

**潟中町ポンプ**

古川下流部（通称：新川）に流れ込む流域の水を雄物川に排水するための排水機場（ポンプ場）を整備します。また、地形的低地である潟中町の床上浸水を解消するための局所ポンプを設置します。

さるたがわひもん

**猿田川樋門：秋田県 が整備します**

猿田川から古川への逆流（バックウォーター）を防ぐため、猿田川に樋門を設置します。



## 協議会の経緯

月日	協議会等	目的	内容
平成30年8月17日	第1回 協議会	・協議会の設立	・協議会の設立 ・検討項目と役割を確認
平成30年10月11日	合同現地調査	・現状把握	・現地状況の情報共有 ・現時点での緊急的な対応内容の確認
平成30年11月20日	第2回 協議会	・取組状況の共有	・基礎データの収集 ・浸水要因の想定
平成31年3月26日	第3回 協議会	・治水対策のあり方	・治水対策の目標 ・治水対策案の一次選定
令和元年8月2日	第4回 協議会	・複合案の検討	・複合案の検討
令和元年12月24日	第5回 協議会	・役割分担 整備スケジュール	・役割分担や整備スケジュールの案の提示 ・ソフト対策の進捗状況を報告
令和4年3月23日	第6回 協議会	・事業進捗の共有	・各整備項目の進捗状況を報告
令和5年3月23日	第7回 協議会	・事業進捗の共有	・各整備項目の進捗状況を報告

※事業の進捗に合わせ、地元説明会を開催しています。

### 古川流域の総合的な治水対策協議会

URL : <https://www.city.akita.lg.jp/shisei/machizukuri/1011486/1011222/1016764.html>



QRコード

#### 【お問い合わせ】

秋田市役所 道路建設課 TEL 018-888-5749

#### 【大雨への備え】

近年、気候変動の影響により、全国で水災害が激甚化・頻発化しており、いっどこで平成29年7月豪雨を上回る災害が起きてもおかしくありません。

そのため、避難場所や経路の確認、気象情報や河川カメラからの情報収集など、日頃からご家庭でできる範囲で大雨に備えましょう。